

四郷小 学校だより

第 22 号
令和元年 11月 29日

各学年の大事にしている取り組み③5年生社会見学

11月19日(火)5年生は、愛知県のトヨタ自動車高岡工場等に社会見学に出かけ、校長の私も同行しました。

集中して働く人の様子はもちろん、組み立て工場の機械やロボット、音、においにいたるまで、じっくり見学・体感していました。キャリア教育の視点から学んだことは、①組立作業効率化や安全上、さまざまな工夫が見られたこと。②無駄をできる限りなくし、整理・整頓・清掃の3Sが行き届いていたこと。③従業員がお客様の笑顔・幸せのために生きがいを持って働いておられたこと等です。トヨタ工場では、90分組み立てた後、10分の休憩の繰り返しです。子どもたちからは「自分はできるだろうか?」と将来を見据えて考えるよい機会を得ていました。

特に素晴らしかったのが、最後の約30分の質問コーナーでした。途切れなく次から次へと出てくる質問の数と内容の深さ(私が質問したかった内容と同じ質問が出るほどでした)に驚きました。前回の環境未来館の見学同様、しっかりと事前学習がなされている様子がうかがえました。私も調子に乗って、以下の質問をしました。お天気にも恵まれ、充実した一日となりました。

・将来、トヨタ自動車に就職するかもしれない子どもたちにアドバイスをお願いします。

入社するには必ず試験がありますので、宿題をその日のうちに必ずすましておくなど、しっかり勉強しておきましょう。また、チームでの作業が多いので、チームワークが大切です。ですから、相手の気持ちが考えられるよう、友達と仲良くしましょう。

先日、3年生マックスバリュー見学発表会に招待されました。私からも各班に質問や感想を伝えました。どの子にもよい緊張感が見られ、楽しいひとときを過ごせました。事後学習も大切にしていきたいです。



四郷地区人権講演会「学ぼう！いじめが終わる方程式」講師：品田奈美さんの思い



11月16日(土)に、四郷地区人権啓発推進協議会主催の講演会が四郷地区市民センターで開催されました。教育コンサルタントの品田さんを講師に迎え、「子どもの命を守るために大人が知って欲しいこと」を副題に、ご自身の体験を踏まえた内容でした。

いじめが終わる方程式とは、「自分が自分を愛する・受け入れる＝いじめが終わる。」すなわち、いじめをなくすには「自分のことを丸ごと受け入れる力をつけること→相手を通して、自分を知ってあげること。」とのことでした。

自身の長所・短所を記入する際、「常にプラス思考だと、短所しかかかなくなる。いい親(自分)になる必要はない。周囲がどう思うのに左右されるのではなく、今の自分を受け入れる(好きになる)と世界が変わる。」との一言が心に残りました。協議会の皆さん、ありがとうございました。

交通安全教室

昨年度最後の「くろがねもち協議会」で出された提言をもとに、今年から南自動車学校から4人の先生をお迎えし、交通安全教室を開催しました。横断歩道の正しい渡り方や自転車の正しい乗り方・点検の大切さを学びました。次年度からは4年生対象に毎年開催予定です。

